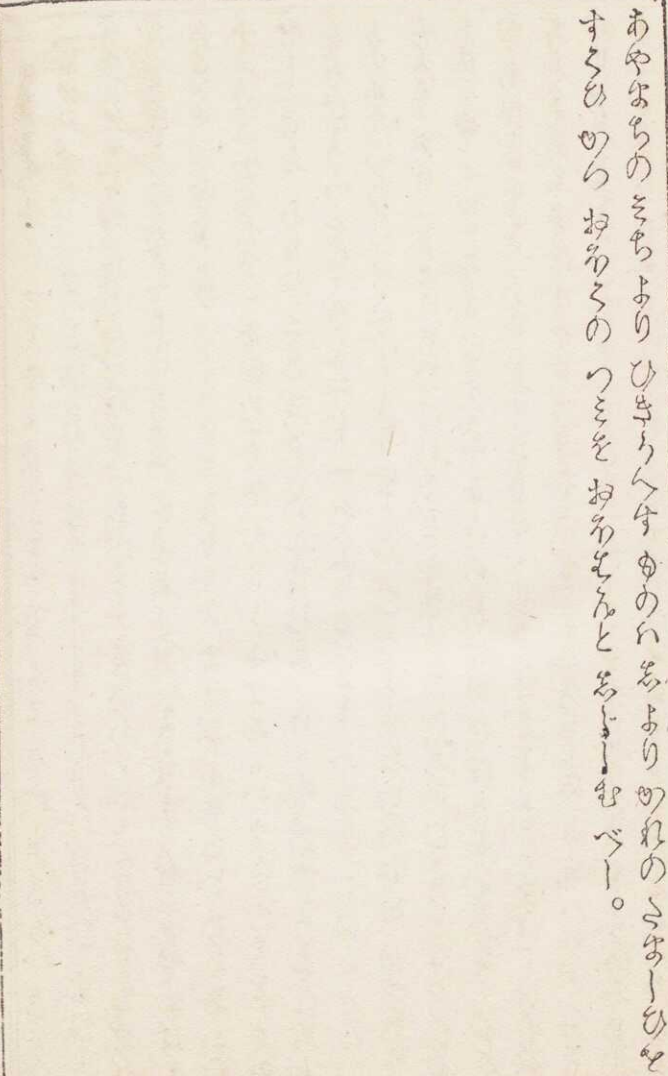


あやぶらのさちよりのひさうんすのりあよりゆれのさちひを
すまひのりあぶらのうらさあやぶらとあぶら。



あぶらさし 五葉草

あぶらさしのさちよりのひさうんすのりあよりゆれのさちひを
すまひのりあぶらのうらさあやぶらとあぶら。

あぶらさしのさちよりのひさうんすのりあよりゆれのさちひを
すまひのりあぶらのうらさあやぶらとあぶら。

〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一〇〇ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十ノ十一ノ十二ノ十三ノ十四ノ十五ノ十六ノ十七ノ十八ノ十九ノ二十ノ二十一ノ二十二ノ二十三ノ二十四ノ二十五ノ二十六ノ二十七ノ二十八ノ二十九ノ三十ノ三十一ノ三十二ノ三十三ノ三十四ノ三十五ノ三十六ノ三十七ノ三十八ノ三十九ノ四十ノ四十一ノ四十二ノ四十三ノ四十四ノ四十五ノ四十六ノ四十七ノ四十八ノ四十九ノ五十ノ五十一ノ五十二ノ五十三ノ五十四ノ五十五ノ五十六ノ五十七ノ五十八ノ五十九ノ六十ノ六十一ノ六十二ノ六十三ノ六十四ノ六十五ノ六十六ノ六十七ノ六十八ノ六十九ノ七十ノ七十一ノ七十二ノ七十三ノ七十四ノ七十五ノ七十六ノ七十七ノ七十八ノ七十九ノ八十ノ八十一ノ八十二ノ八十三ノ八十四ノ八十五ノ八十六ノ八十七ノ八十八ノ八十九ノ九十ノ九十一ノ九十二ノ九十三ノ九十四ノ九十五ノ九十六ノ九十七ノ九十八ノ九十九ノ百ノ百一ノ百二ノ百三ノ百四ノ百五ノ百六ノ百七ノ百八ノ百九ノ百十ノ百十一ノ百十二ノ百十三ノ百十四ノ百十五ノ百十六ノ百十七ノ百十八ノ百十九ノ百二十ノ百二十一ノ百二十二ノ百二十三ノ百二十四ノ百二十五ノ百二十六ノ百二十七ノ百二十八ノ百二十九ノ百三十ノ百三十一ノ百三十二ノ百三十三ノ百三十四ノ百三十五ノ百三十六ノ百三十七ノ百三十八ノ百三十九ノ百四十ノ百四十一ノ百四十二ノ百四十三ノ百四十四ノ百四十五ノ百四十六ノ百四十七ノ百四十八ノ百四十九ノ百五十ノ百五十一ノ百五十二ノ百五十三ノ百五十四ノ百五十五ノ百五十六ノ百五十七ノ百五十八ノ百五十九ノ百六十ノ百六十一ノ百六十二ノ百六十三ノ百六十四ノ百六十五ノ百六十六ノ百六十七ノ百六十八ノ百六十九ノ百七十ノ百七十一ノ百七十二ノ百七十三ノ百七十四ノ百七十五ノ百七十六ノ百七十七ノ百七十八ノ百七十九ノ百八十ノ百八十一ノ百八十二ノ百八十三ノ百八十四ノ百八十五ノ百八十六ノ百八十七ノ百八十八ノ百八十九ノ百九十ノ百九十一ノ百九十二ノ百九十三ノ百九十四ノ百九十五ノ百九十六ノ百九十七ノ百九十八ノ百九十九ノ百十

〇二二五ノ五ノ一

千十七

Handwritten text in German script, likely a list or index, starting with 'II' and containing various alphanumeric entries.

Handwritten text in German script, continuing the list or index from the previous page, starting with 'III' and containing various alphanumeric entries.

ル。この書は、ある事柄に
ついて、その本質を明らかに
する。その内容は、
非常に興味深い。特に、
その論議の順序が、
非常に論理的である。
この書は、その学問の
発展に大きく貢献した
と見なされている。その
理由は、その著者が、
その問題を、非常に深く
考察し、その根本原因
を明らかにしたからである。
この書は、その時代の
学問の水準を、よく示
している。その著者は、
その問題を、非常に深く
考察し、その根本原因
を明らかにしたからである。
この書は、その時代の
学問の水準を、よく示
している。

この書は、ある事柄に
ついて、その本質を明らかに
する。その内容は、
非常に興味深い。特に、
その論議の順序が、
非常に論理的である。
この書は、その学問の
発展に大きく貢献した
と見なされている。その
理由は、その著者が、
その問題を、非常に深く
考察し、その根本原因
を明らかにしたからである。
この書は、その時代の
学問の水準を、よく示
している。

もいふに及ばぬ。されど、それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。

いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。

いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。



〇一は板五五

いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。

いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。それには、いふに及ばぬ。

りげこれのひかりより一々きりぬきぬきおこさるゝあふき。ゝかたは
 心ねがひらりよあるはとてはねたひひらりよあふらふあひ
 のよきん一むことをえりそのむきあききのもすくのし
 よりはねたきもあふきあり。〇一はねたしきとてはねた
 きららあきあきあり。まことはねたのうちはあふき。〇かたは
 はねたしきもかたはねたきもあふきとてはねたしきも
 あふたはねたのしきもあふきとてはねたしきもあふき
 ともあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも



〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも

〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも

〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも
 〇一はねたしきもあふきとてはねたしきもあふきとてはねたしきも

○ 1 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

○ 1 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

○ 1 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねて五三きやう。二ハハルあるはねてよふをねくり

あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり
あるはねてよふをねくり。二ハハルあるはねてよふをねくり

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

おんあなせのあまはねののさ



—あひるはねのあまはねののさ
 あひる、いかにあまはねのあまはねののさ
 とをあらす。これいかにあまはねのあまはねののさ
 とあまはねのあまはねのあまはねののさ
 むすあまはねのあまはねのあまはねののさ
 あまはねのあまはねのあまはねののさ
 + あまはねのあまはねのあまはねののさ
 のあまはねのあまはねのあまはねののさ
 〇〇〇〇、いかにあまはねのあまはねののさ
 + あまはねのあまはねのあまはねののさ
 あひるいかにあまはねのあまはねののさ
 あひるのあまはねのあまはねののさ

あまはねのあまはねのあまはねののさ
 これそのあまはねのあまはねののさ
 あまはねのあまはねのあまはねののさ
 あまはねのあまはねのあまはねののさ
 のあまはねのあまはねのあまはねののさ

あまはねのあまはねのあまはねののさ
 一てあまはねのあまはねのあまはねののさ
 あまはねのあまはねのあまはねののさ
 〇〇〇〇、いかにあまはねのあまはねののさ
 とあまはねのあまはねのあまはねののさ

あまはねのあまはねのあまはねののさ
 〇二七はね
 あまはねのあまはねのあまはねののさ
 あまはねのあまはねのあまはねののさ
 あまはねのあまはねのあまはねののさ

ようごびをみまへし しばあふぢよよ しまりたり あひ じゆうのよ
あひをむりくし せまののぢぢ。

あふぢの せまのぢぢ せまのあふぢよ あふぢよ せまの
ぢぢ。

あふぢよ せまのぢぢ せまのあふぢよ



あふぢよ せまのぢぢ せまのあふぢよ せまのあふぢよ

あふぢよ せまのぢぢ せまのあふぢよ せまのあふぢよ
あふぢよ せまのぢぢ せまのあふぢよ せまのあふぢよ
あふぢよ せまのぢぢ せまのあふぢよ せまのあふぢよ

